



DJI Air 3 リリースノート

日付:	2024.04.11
機体ファームウェア:	v01.00.1200
送信機ファームウェア:	v02.02.0000 (DJI RC 2) v01.00.0700 (DJI RC-N2)
DJI Fly アプリ iOS:	v1.13.0
DJI Fly アプリ Android:	v1.13.0

最新情報

- DJI Goggles 3 と DJI RC Motion 3 へのサポートを追加。詳細は、<https://www.dji.com/air-3/downloads> にアクセスし、コンシューマー向けドローン&ゴーグル対応モデル情報 (DJI Goggles 3 向け) をご確認ください。

備考:

- 追加機能を利用するには、DJI Fly の v1.13.0 以降のファームウェアが必要です。
- 更新できない場合は、機体、送信機、DJI Fly または DJI Assistant 2 (一般向けドローン用) を再起動してから、再試行してください。

DJI Air 3 リリースノート

日付:	2023.12.21
機体ファームウェア:	v01.00.10.00
送信機ファームウェア:	v02.00.03.00 (DJI RC 2) v01.00.06.00 (DJI RC-N2)
DJI Fly アプリ iOS:	v1.12.4
DJI Fly アプリ Android:	v1.12.4

最新情報

- ActiveShots 360° に自動モードを追加。
- 視覚アシストを追加。
- 12MP 写真モードでのデジタルズームを追加。
- ビジョンポジショニングと障害物検知のスイッチを追加。
- 中望遠カメラがスフィア パノラマ撮影に対応。
- 中国の無人航空機関連の規制を遵守するため、民間の無人航空機所有者に対して、所有している機体情報を CAAC に実名登録するためのサポートを追加。
- EASA メンバー諸国と英国におけるフロントアーム LED 設定に対応。
- カメラパラメーター設定が、ファームウェア更新の影響を受けなくなりました。この機能は、更新が行われる前の機体ファームウェアが v01.00.06.00 以降の場合にのみ有効です。
- バッテリーの自動放電ストラテジーを最適化。
- 一部、マイナーな不具合を修正。

備考:

- 追加機能を利用するには、DJI Fly の v1.12.4 以降のファームウェアが必要です。
- 更新できない場合は、機体、送信機、DJI Fly または DJI Assistant 2 (一般向けドローン用) を再起動してから、再試行してください。

DJI Air 3 リリースノート

日付:	2023.11.2
機体ファームウェア:	v01.00.0700
送信機ファームウェア:	v02.00.01.00 (DJI RC 2) v01.00.05.00 (DJI RC-N2)
DJI Fly アプリ iOS:	v1.12.3
DJI Fly アプリ Android:	v1.12.3

最新情報

- 一部、マイナーな不具合を修正。

備考:

- リンク前に、機体、ゴーグル、モーションコントローラーのファームウェアを更新するようにしてください。DJI Assistant 2 (一般向けドローン用) を使用して、それぞれのデバイスを個別にファームウェア更新できます。また、DJI Fly アプリを使用してファームウェア更新することもできます。
 - a. 機体: 送信機を使用して、ファームウェアを更新します。
 - b. ゴーグルとモーションコントローラー: ゴーグルとモーションコントローラーの電源を入れます。ゴーグルの USB-C ポートと モバイル端末を接続し、DJI Fly を起動し、**プロフィール > 機器管理** を選択します。該当のゴーグルを見つけます。**ファームウェア更新** を選択して、画面上の指示に従ってファームウェアを更新します。
- ファームウェア更新後にカメラ設定はリセットされるので、先に DJI Fly でカメラ設定を確認してください。
- 更新できない場合は、機体、送信機、DJI Fly または DJI Assistant 2 (一般向けドローン用) を再起動してから、再試行してください。

DJI Air 3 リリースノート

日付:	2023.09.25
機体ファームウェア:	v01.00.0600
送信機ファームウェア:	v02.00.00.00 (DJI RC 2) v01.00.05.00 (DJI RC-N2)
DJI Fly アプリ iOS:	v1.12.0
DJI Fly アプリ Android:	v1.12.0

最新情報

- オート露出ブラケット (AEB) やバースト撮影を使用中、48MP 写真を 5 枚撮影することが可能になりました。
- AR ホームポイント、AR RTH ルート、機体の AR シャドウを追加。
- ノーマルモードでの最大水平速度を、手動で 15 m/s に設定できるようになりました。
- DJI Goggles 2、DJI Goggles Integra (日本未発売)、DJI RC Motion 2 へのサポートを追加。詳細は、<https://www.dji.com/air-3/downloads> にアクセスして、コンシューマー向けドローン & ゴーグル対応モデル情報をご確認ください。

備考:

- リンク前に、機体、ゴーグル、モーションコントローラーのファームウェアを更新するようにしてください。DJI Assistant 2 (一般向けドローン用) を使用して、それぞれのデバイスを個別にファームウェア更新できます。また、DJI Fly アプリを使用してファームウェア更新することもできます。
 - a. 機体: 送信機を使用して、ファームウェアを更新します。
 - b. ゴーグルとモーションコントローラー: ゴーグルとモーションコントローラーの電源を入れます。ゴーグルの USB-C ポートとモバイル端末を接続し、DJI Fly を起動し、**プロフィール > 機器管理** を選択します。該当のゴーグルを見つけます。**ファームウェア更新** を選択して、画面上の指示に従ってファームウェアを更新します。
- ファームウェア更新後にカメラ設定はリセットされるので、先に DJI Fly でカメラ設定を確認してください。
- 更新できない場合は、機体、送信機、DJI Fly または DJI Assistant 2 (一般向けドローン用) を再起動してから、再試行してください。

DJI Air 3 リリースノート

日付:	2023.08.28
機体ファームウェア:	v01.00.0400
送信機ファームウェア:	v01.00.06.00 (DJI RC 2) v01.00.04.00 (DJI RC-N2)
DJI Fly アプリ iOS:	v1.11.0
DJI Fly アプリ Android:	v1.11.0

最新情報

- 一部、マイナーな不具合を修正。

備考:

- ファームウェア更新後にカメラ設定はリセットされるので、先に DJI Fly でカメラ設定を確認してください。
- 更新できない場合は、機体、送信機、DJI Fly または DJI Assistant 2 (一般向けドローン用) を再起動してから、再試行してください。

DJI Air 3 リリースノート

日付:	2023.07.25
機体ファームウェア:	v01.00.0300
送信機ファームウェア:	v01.00.05.00 (DJI RC 2) v01.00.03.00 (DJI RC-N2)
DJI Fly アプリ iOS:	v1.11.0
DJI Fly アプリ Android:	v1.11.0

最新情報

- 48MP 写真撮影に対応。
- 動画モードでのシャープネスやノイズ低減のスタイルパラメーターの調整に対応。
- 12MP 写真の撮影時、擬似長時間露光するための 2.5 秒から 8 秒までのシャッター速度のオプションに対応。
- 広角レンズの使用に対応。
- 低照度環境での RTH を最適化。

備考:

- ファームウェア更新後にカメラ設定はリセットされるので、先に DJI Fly でカメラ設定を確認してください。
- 更新できない場合は、機体、送信機、DJI Fly または DJI Assistant 2 (一般向けドローン用) を再起動してから、再試行してください。